

発言No.

4

令和

受付No.

17

平成 3 年 2 月 15 日

10 時 59 分 受付

発 言 通 告 書

議席番号 23番 氏名 西村 健

発 言 の 種 別
(項目を○で囲む)

質疑

個人一般質問

緊急質問

答 弁 を 求 め る 者
(該当者を○で囲む)

市 長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1

幼児教育 及び公立幼稚園の今後のあり方について

現在、わたしが所属する総務文教委員会において取り組んでいる「こどもの可能性を育む幼児教育」という政策課題の視点に基づき、基本的には、11月16日に開催された議会全員協議会において示された「公立幼稚園の今後のあり方(案)について」〔以下、「あり方」(案)〕に沿って質問する。

(1)

幼児教育における課題認識について

①

現在の浜田市の諸計画における幼児教育の位置付けに対する認識について問う。

②

現在の市立幼稚園の幼児教育に対する保護者の評価についての認識を問う。

③

幼児教育における公立幼稚園が果たす役割に対する認識について問う。

④

幼児教育において幼児教育センターが果たす役割・機能および業務に対する認識について問う。

(2)

公立幼稚園の統廃合方針について

「あり方(案)」の「4 公立幼稚園統合の方針について」から、以下の①～③について問う。

①

1園に統合する理由に園児数やクラス分けを挙げている根拠について問う。

②

「幼児教育の基幹施設として機能をする」とはどういう意味か。

③

「統合園の教育課程は、～、新たな時代に対応する内容とする」の「新たな時代」とは何を指すのか。またそれに対応する教育課程は存在するか。市立幼稚園の維持・継続のためには、「あり方(案)」の「5 新たに実施を予定している保育サービス」に記載している3サービスは、1日も早い提供が必須条件と考えるがどうか。